

FACULTY OF LAW

法学部

Legal mindで世界とつながる。
香川でみつけよう、未来を。

香川大学法学部は、四国地方で唯一の国立大学の法学部です。高等裁判所、高等検察庁といった重要な官公庁や有力企業が所在する高松の特色を生かし、法学および政治学の研究教育において四国地方の中核的機能を果たすことを目指しています。法学と政治学は、紛争を公平かつ正當に解決するという目的のために、あるいは紛争の発生を未然に防止するという目的のために、相互に補完する関係にあり、分ちがたく結びついています。

開講課程

法学科

●法律職コース ●公共政策コース ●企業法務コース ●総合法政コース(夜間主コース)

取得可能な資格について

法学部で
取得できる資格

司法書士、行政書士などの法律専門職資格はもとより、税理士、社会保険労務士などの資格試験や、地方・国家公務員試験も法律系専門科目を必須科目としています。法学部のカリキュラムはこれらの専門科目を数多く用意しており、学生の将来設計に多様な選択肢を提供しています。

法学部で
取得できる免許

法学部および教育学部の所定の科目を履修すると、以下の教育職員免許状を取得することができます。
●高等学校教諭一種免許状(公民)



Dean Message

民主主義を支える「公共的市民」の育成!

法学部長 三野 靖 専門分野／行政法

香川大学法学部の特徴を一言で表現すると、「学生中心の学部」と言えるでしょう。1年次から4年次まで学年に応じたゼミの配置、学生一人ひとりに向き合った教育を心がけています。

法学部で学ぶ法律学・政策科学(政治学)は、一見、近寄りたくない学問分野のように思われるかもしれませんが、実は私たちの日常生活のなかで日々向き合っています。家庭や地域・社会でのさまざまな場面でルールがあるゆえそれらは機能し、課題がある場合は解決のための方策が求められます。そのための知識や物事の考え方、解決手法を学ぶのが法学部です。そのような能力・資質を身につけた学生、民主主義を支える「公共的市民」を社会へ送り出しています。

高校生の皆さん、社会人の皆さん、香川大学法学部と一緒に学びましょう。



カリキュラム

		1年次	2年次	3・4年次
専門教育科目	基礎法系	法律職コース 公共政策コース 企業法務コース	●法思想史	●法哲学 ●法制史
	民事法系	法律職コース 公共政策コース 企業法務コース	●民法入門 ●民法I	●民法II・III・IV
	公法系	法律職コース 公共政策コース 企業法務コース	●憲法入門	●憲法I・II
	刑事法系	法律職コース 公共政策コース 企業法務コース	●刑事法入門	●刑法総論 ●刑法各論I・II ●刑事訴訟法I
	政治系	法律職コース 公共政策コース 企業法務コース	●政治学入門 ●政治思想 ●平和学	●政治過程論 ●公共選択論 ●行政学
			●民事訴訟法I・II ●発展的民事法I・II ●会社法I・II ●労働法 ●経済法I・II ●発展的公法 ●行政法総論 ●行政救済法I・II ●地方自治法 ●刑事訴訟法II ●発展的刑事法 ●比較政治 ●地方自治論 ●政治行動論	
	総合法政コース (夜間主コース)	※上記昼間コース開講科目を3年に一度開講 総合法政コース固有の科目(「法学入門」)があります。「民法入門」「憲法入門」等はありません。 「夜間演習」は毎年開講。同じ教員の演習以外は何回でも受講可。		

※1年次から専門分野の導入として入門科目が設けられています。
2年次進級時に3つのコースから1つを選択しますが、3年次進級時にコースを変更することができます。

法律職コース

法科大学院に進学して法曹となろうとする者や、司法書士・社会保険労務士・土地家屋調査士・税理士など、その他の法律分野の資格を取得しようとする者のためのコースです。これらの資格取得のために、高いレベルの法的専門知識・技術の確実な習得を目標とします。そのために、基本的な法学（いわゆる六法）の教育を中心におき、さらに、法科大学院進学に備えて法律知識を運用する力を培うための科目群を用意しています。そのほかにも法律職の実務を見据えた実践的な内容の教育を行っています。



公共政策コース

国や地方自治体などの公務員やNGO・NPOの職員など、広く公共的価値の実現を担おうとする者のためのコースです。公共的価値を地域等の社会に実現していくために求められる専門的かつ実務的な知識だけでなく、たえず変化しつづける複雑な社会において、新たに生み出されてくる諸問題を発見し、適切な解決策を構想する実践的な能力を育成することを目標とします。そのために、人権保障をはじめとする憲法の基本原理、その実現のための諸制度の学習を基本におき、その他の法学・政治学の学習を通じて、法的判断能力や政策立案能力を育成します。



企業法務コース

企業において中核的な役割を果たす有為な人材を養成することを主眼とします。情報化・国際化した現代社会において企業活動に求められる専門的かつ実務的な法知識、自ら「考える力」としての問題発見・解決能力を育成・向上させることを目標とします。そのために、経営法務、労務、税務、金融、国際取引、公正取引などの企業法務に関連する科目を中心におきつつ、その他の法学および経済学・経営学の分野にも明るい柔軟な思考力・対応能力を備えた人材の育成をめざします。



リーガルマインドで、 人の心に寄り添う法曹を目指す

岩永 円

香川大学法学部では、法律の基礎的な知識だけでなく、実務家の講師による、より実践的で生きた法律も学ぶことができます。私はそのような授業で、実際の紛争に法を適用することの難しさを知り、当事者が納得する結論を得るための思考方法を学ぶことが出来ました。卒業後はロースクールに進学し、弁護士を目指そうと思っています。学部で学んだことを生かして、人の心に寄り添うことのできる法曹になることを目標としています。高校生の皆さんにも、大学で様々な体験をし、高校の3年間よりもっと楽しい学生生活を送ってほしいです。



公務員に必要な 知識と経験を学ぶ

福田 悠

このコースでは法学と政治学の両面から行政のあり方について学べます。公務員試験に必要な科目に限らず、インターンシップなどで実務面からも学習することができるため、将来像を描きやすくなります。私は春から県職員として働きますが、大学の授業やゼミでの学習を仕事にも生かしていきたいと考えています。公務員になることに関心がある人は、必要な知識や経験を得ることができるこのコースで学んでいきましょう。



自分で考え・ 伝える力を養う

谷口 智宏

民間企業に就職をする上で、社会で求められる実務的な法知識や問題に対する解決能力を身につけるために日々多くのことを学んでいます。法学部では、大人数で受講する講義科目と少人数のゼミナールが開講されています。特にゼミナールでは1年次より自分の意見を考え、伝える力を養うことができ、就職活動にも役立ちました。ぜひ、法学部で有意義な4年間を過ごしてください。



勉強もサークルも、 自分で選ぶ

長峰 丞

法律に関してほとんど知識がなかった私ですが、講義やゼミで基礎的な部分から教えてもらい、少しずつ理解することができました。また、私は現在、合唱団というサークルに所属し、高い音が出る男性を指導する、パートリーダーという役割を担っています。勉強面においてもサークル活動面においても、とても充実した日々を送っています。大学では多くのことを自分で自由に選びます。勉強も、何をどれほど学ぶか自分で選ぶことができるため、自分の思い描く学生生活が送れますよ。



社会に対する想像力が必要： 日々のニュースに耳を傾け、 倫理・政経の知識を備える

田淵 舜也

香川大学法学部の最大の魅力は一年生前期から少人数ゼミに参加できることにあります。大学の勉強は、まず基本的な知識を備えるために本を読み、その次に物事を様々な観点から批評することにあります。高校とは全く違う知的な営みを一年生から体験できるのは貴重です。また、法学部は社会に対する想像力が必要になります。日々のニュースに耳を傾け、倫理・政経の知識を備えることをおすすめします。



ゼミでは、講義よりも 深い内容までしっかり学べる

香川 未来

本学では、1年次に開講されている入門科目でしっかり基礎固めを行った上で、自らの興味関心に応じたコースに分かれて授業を組めるので幅広い選択肢を持つことが出来ます。また、ゼミでは、講義よりも深い内容までしっかり学ぶことが出来るので専門性が深まります。少人数授業なので担当教員との距離が近く、メールで質問できたり、研究室で個別に指導を受けたり、徹底した指導を受けられます。



社会で働きながら、大学で学ぶためのコースです。授業は夜間に行われ、法律学、政治学、経済学、経営学などの諸分野を幅広く履修できます。より豊かで深い知識と教養を身につけた上で、専門の実務能力としての企画力や政策遂行能力に磨きをかけることを目標とします。働く中で必要性を感じて意欲的な学びを始める人や社会人としてのステップアップを目指す人が、職場や社会のさまざまな場面で、個々の能力を存分に発揮して、より活躍できるような力を養っていきます。



年齢の異なる仲間と共に学び、新しい発見

住吉 梨穂菜

2コマ連続の講義が多く、1日に学ぶ内容は多いですが、短期間に深く学ぶことができますので、復習もしやすく、効率よく学ぶことができます。先生方は学生の理解度に応じて、内容調整や補足資料を用意してくれるので、安心して講義に参加することができます。また、学年や年齢の異なる仲間たちと共に学ぶことにより、新しい発見があり、さまざまな視点からものごとを考えることができる点が、とても魅力的です。



フィールドワーク

歴史・文化を背景として、社会の動きと密接に連動している法学・政治学は、机上だけの学問ではありません。現代の社会の中で、法がどのように運用されているのか、政治学がどのように動いているのか、自らの手足・感覚を使って、学び、考えることが必要です。たとえば、裁判傍聴、役所・地域団体や刑務所や少年院への訪問など、地の利を生かしてさまざまなフィールドワークを積極的に行っています。



香川大学法学会

香川大学法学会は「法律、政治、その他隣接諸科学に関する諸問題を研究調査することを目的」とし、設立されたものです。その目的を達成するために、機関誌『香川法学』の刊行と共に毎年春と秋には外部から大学教員や研究者、裁判官、弁護士、NPO関係者などをお招きして講演会を開催しています。



法学部資料室

法学部資料室は、法律学・政治学に関する研究の助成を目的として開設され、法学部棟4階に位置しています。法律学・政治学関係の和・洋雑誌を中心に、判例集、図書(記念論文集を含む)および参考図書等を備えるほか、情報機器を利用して判例・文献を検索することができます。



高校生懸賞論文

2015年度より開始した「香川大学法学部県内高校生懸賞論文」は、さまざまな社会問題について、自ら情報を収集し、自分の意見を述べてもらう、という趣旨で、実施しています。これまで、「18歳選挙権のもとで、政治とどう向き合うか」などをテーマとして募集し、香川県内の高校生から、多くの力作が集まりました。優秀な作品については表彰し、HPでも公表しています。



法学研究会

香川大学法学研究会は、6月と12月に開催される「九州瀬戸内学生法律討論会」「全日本学生法律討論会」を目指した学習を行っている、法学部公認サークルです。討論会は、裁判所・検察庁・弁護士会・法務省の後援によるものです。



新入生・小豆島合宿

在学生が中心となって企画し、入学直後の新入生が1泊2日の合宿を行います。新入生どうしの親睦をはかると共に、先輩や教員と話ができ、大学生活をスムーズにスタートすることができます。

大学の授業や学内活動で頑張っている学生を紹介します。

Student Action 法学部



選挙啓発活動

2016年7月の参議院選挙の際、いくつかのゼミのメンバーを中心とした有志の学生で、学生に投票参加を呼びかける活動を行いました。この選挙は、18歳、19歳の1、2年生はもとより、多くの学生にとって、投票権を得て初めての選挙となりましたが、そうした学生がスムーズに投票できるように投票の仕方を解説したチラシや、候補者や政党について知ることのできるウェブサイトなどを紹介したチラシを作成して、配布を行いました。



オープンキャンパス

在学生と教員が、進学を考えている高校生に対して、法学部の魅力やキャンパスライフについて、紹介します。キャンパスツアーや展示コーナーで、在学生と直接、話もできます。

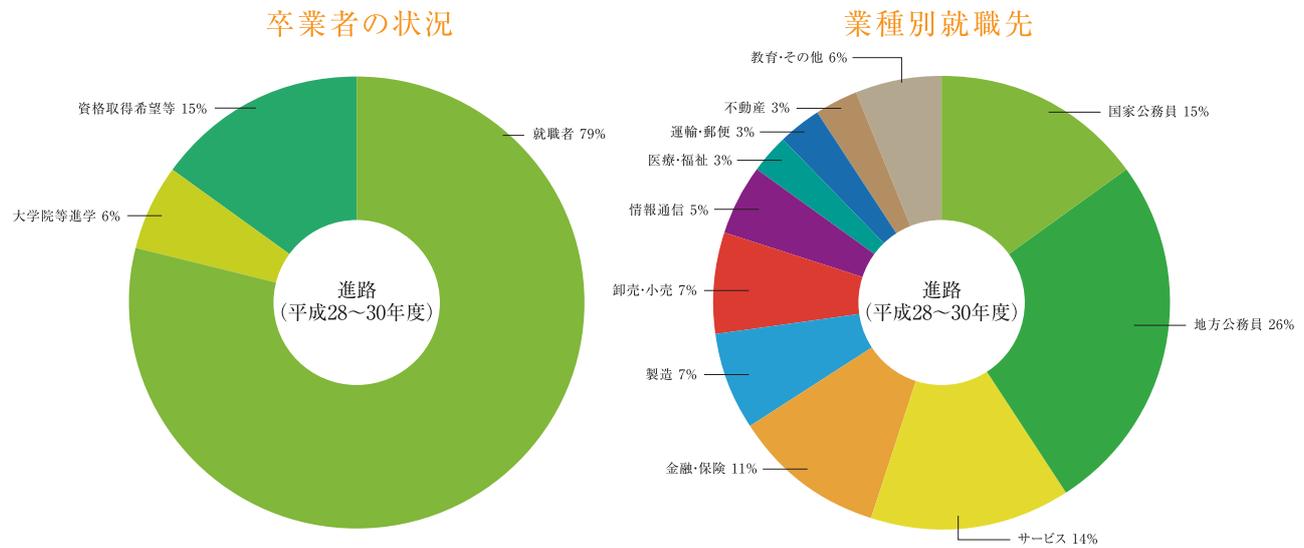


ボランティア活動

学外で、他大学の学生や社会人の方と共に、社会に貢献するボランティア活動に参加する学生もいます。写真は、BBS活動や熊本地震後の活動の様子です。

卒業後の進路

法学部の進路は、「幅広い」のが特徴です。就職先については、民間企業はもちろん、半数近くの人が公務員となっています。弁護士など法曹の世界を目指すため大学院へ進学する人もいます。



主な就職先

<官公庁>
香川労働局、岡山労働局、高松国税局、高松地方裁判所、高松地方検察庁、香川県警察、兵庫県警察、香川県庁、愛媛県庁、高知県庁、徳島県庁、岡山県庁、高松市役所、岡山市役所など

<民間>
日本郵便、四国旅客鉄道、四国電力、ANA Cargo、香川銀行、中国銀行、百十四銀行、大和証券、三井住友海上火災保険、損害保険ジャパン日本興亜、四国新聞社、香川大学、香川県農業協同組合、トーカーなど

<進学>
香川大学大学院、神戸大学大学院、広島大学法科大学院、岡山大学法科大学院、大阪大学法科大学院、一橋大学法科大学院、同志社大学法科大学院、早稲田大学法科大学院、中央大学法科大学院、慶應義塾大学法科大学院など

大学院法学研究科

大学院法学研究科(修士課程)は、法学と政治学のより高度な教育を通じて専門的な知識を身につけるとともに、自身の関心に基づく研究を行うことで、専門知識を応用的に活用していく能力を培います。これによって、司法書士などの法律専門職や公務員をはじめとした行政専門職など、高度専門職業人を養成することを目指しています。法学研究科に2年以上在学し、一定の授業単位を修得するとともに論文審査と最終試験に合格すれば、修士の学位(法学)が授与されます。これは、職業上の資格のワンランクアップなどにも有利に働きます。例えば、税理士を目指している人は、修士の学位を取得することにより、税理士試験の一部科目免除を受けられる可能性があります。また、本研究科を修了した後、他大学の博士課程に進学して研究者を目指す人もいます。



法学部のキャリア支援

■ インターンシップ

「働くということ」について認識を深めるために、3年次の学生を対象に、原則として40時間(=8時間×5日)以上民間企業や地方自治体等で研修を行うことに対して、2単位を認定しています。



■ 公務員講座

香川大学法学部卒業生の約4割は公務員として就職しています。公務員試験の勉強を支援するため、大学生協と連携して、公務員試験講座を行っています。キャンパス内で授業の後にそのまま講座を受講できること、多くの仲間がいることなど、孤独になりがちな試験勉強でも効率的に楽しくできると、好評です。



卒業生の声

法律の学習だけでなく、
すべての課外活動が今の仕事に役立っています！

弁護士



山地 淳仁さん

私は、現在、高松市にあるあかり総合法律事務所のパートナー弁護士として、日々、会社や個人のお客様の紛争解決を目指し働いています。私が弁護士を志したのは、大学3回生から所属した民法ゼミがきっかけでした。ゼミの中で、裁判所の判決文の内容だけでなく、その根底にある事実や社会的背景などに目を向けることの大切さを学ぶにつれ、判決や法律をもっと深く知りたいと思うようになりました。法律は紛争解決のための道具に過ぎませんし、法律だけを知っていても紛争は解決できません。より広い知見が求められます。そういう意味では、学生生活におけるサークル活動やアルバイトを含め、全ての経験が、現在役立っていると思います。夢を実現できるかどうかは、皆さん次第ですが、香川大学には充実したサポート体制があります。皆さんには、ぜひ香川大学に入学し充実した学生生活を送り、夢を掴み取ってもらいたいと思います。



地域密着と
国際的視野

日本航空株式会社 勤務

森 彩夏さん

香川大学法学部の魅力は、進路の選択肢を幅広く持つ点です。1,2年次には法律系専門科目のほかに、他分野の教養科目や外国語を学びます。3年次からはゼミに所属し、実用的なリサーチマインドを身につけます。私の所属ゼミでは、全員が地方自治体を題材に、問題提起、情報収集、仮説検証し、自ら政策提言を行いました。論理的に考え、プレゼンテーションすることで、考える力や伝える力が身につきます。また、実際に自治体を訪れ、市職員の方にお話を伺える等、地域に根差した活動が出来る点も香川大学の魅力のひとつです。地域密着という特性の一方で、香川大学では国際的視野を広げることも出来ます。入学当初は地元で学び、地元で働きたいと思っていた私でしたが、アメリカへの短期語学研修を機に、国内外で活躍出来る仕事を目指すようになりました。会話に特化した英語の講義や留学生との交流の場には積極的に参加しました。法学部に入学し、国際交流とは矛盾しているようにも思いますが、地方について学んだからこそ、少子高齢化の中、女性が地元を離れて働く良否を理解した上で今働いていると思います。また、大学で培った自ら考える力は、現在の仕事にも役立っています。これから入学を考えるみなさまにも、夢を幅広く持っていただきたいです。



地域について学び、
その成果を
地域に還元していく

岡山県庁 勤務

安藤 秀明さん

学生時代、県職員として行政に携わりたいという夢を抱いていましたが、それを大きく後押ししてくれたのが、ゼミの存在でした。ゼミでは、行政法や地方自治法について学ぶとともに、自治体へのヒアリング活動等を通し、地域が抱える諸課題や解決策について研究しました。先生との距離も近く、進路の悩み等も親身になって聞いてくださり、力強くサポートしていただいたことも印象に残っています。現在は岡山県教育庁財務課で、教育予算の編成や、財務会計等に関する業務に携わっており、特に今年度は決算業務の主担当として、国に提出する統計資料の作成や県議会への報告などを行いました。迅速かつ慎重さを求められることが多い職場ですが、上司や同僚の助言を受けながら、本県の教育活動を支える緑の下の力持ちとなるよう、日々奮闘しています。また、ゼミの経験を踏まえ、庁内の政策立案研修や若手職員中心の自主的な研修に積極的に参加するなど自己研鑽に努め、業務に活かせるように心がけています。「地域について学び、その成果を地域に還元していく。」香川大学では、そうした好循環の中で学習することができると 생각합니다。みなさんもまずは自分の夢をしっかり抱き、夢の実現に向けて、香川大学でしっかりチャレンジしてほしいと願っています。

法学部を詳しく知りたい方は

法学部案内パンフレット

【資料請求】[教務課 学務第一係(法学部担当)]
〒760-8523 香川県高松市幸町2-1
Tel.087-832-1806



学部ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u/jl/>



法学部紹介動画はコチラ

